



その他の取り組み

TEAS

当研究所は、平成24年12月19日鳥取県版環境管理システム (TEAS※)I種を取得し、環境に配慮した運営を行っています。
※TEASとは、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001 に準じた鳥取県独自の規格です。

ISO/IEC17025

当研究所は、食品と環境分野の4種類の試験について、試験所品質システムの国際標準規格「ISO/IEC17025」に適合する試験所として認定を取得し、試験検査の品質・信頼性の確保に努めています。

鳥取県感染症情報センター

当センターでは、県内の感染症情報(患者情報、病原体情報)を収集・分析し、「感染症流行情報」として提供しています。



鳥取県衛生環境研究所

Tottori Prefectural Institute of Public Health and Environmental Science

施設の特徴

当研究所は、建物全体が環境に配慮したエコビルディングとして、建物の一生(建設～管理運営～解体)を通して環境への負荷の低減につながるよう配慮しています。

太陽光発電システム

地中熱利用空調システム

太陽熱給湯システム

屋上緑化断熱

自然素材の建築仕上げ

県産材の利用

リサイクル材料の利用

敷地内ビオトープ



ACCESS

●公共交通機関

東京方面から 羽田空港～鳥取空港【所要時間約1時間15分】
空港連絡バス「三朝・倉吉駅方面行き」にて
倉吉駅下車【所要時間 約45分】

大阪方面から 大阪駅～倉吉駅「特急スーパーはくと」
【所要時間 約3時間】

JR倉吉駅から 路線バスでお越しの場合
「はわい温泉・石脇行き」にて
衛生環境研究所前下車【所要時間 約25分】
タクシーでお越しの場合
JR倉吉駅～当所【所要時間 約15分】

●車でお越しの場合

鳥取方面から 山陰自動車道青谷・羽合道路「泊・東郷降り口」下車、
西へ約7km

米子方面から 国道9号線から国道179号線に入り、
東郷湖羽合臨海公園方面へ約5km



所在地 〒682-0704 鳥取県東伯郡湯梨浜町南谷526-1 TEL.0858-35-5411 FAX.0858-35-5413
E-mail eiseikenkyu@pref.tottori.lg.jp ホームページ <http://www.pref.tottori.lg.jp/eiken/>

はじめに

私たちは、感染症、食中毒、化学物質等による健康被害の発生に直面し、大気汚染等環境問題による環境被害のみならず健康影響までもが危惧される状況にあります。このような状況において、鳥取県衛生環境研究所では、県民の安全確保と環境への影響を把握するために必要な検査あるいは調査研究を実施しています。

また、循環型社会を構築するために必要な新たなリサイクル技術等の調査研究や湖沼の浄化・再生のための生態系に視点をおいた手法等の調査研究にも積極的に取り組んでいます。

一方、当所は衛生・環境学習の場としても位置づけられ、毎年多くの県民の方に有効に利用していただいています。



ミッション

県民の安全確保と豊かな環境確保のための調査研究拠点機能の発揮

- 危機管理対応として、県民の安全確保に資する調査研究の実施
- 環境の保全・再生と活用に資する研究・調査の実施
- 住民・NPOの環境学習・環境活動の支援
- 試験検査の信頼性確保と精度の向上

沿革

- 昭和23年8月 地方衛生研究所設置要綱に基づき、鳥取市東町に「鳥取県衛生研究所」が設置された。
- 昭和44年3月 鳥取市松並町に新築・移転した。
- 平成14年7月 東伯郡湯梨浜町に新築・移転し、名称を「鳥取県衛生環境研究所」に改称した。
- 平成16年4月 総務課、企画調整室、保健衛生室、食品衛生室、水環境室、環境化学室、大気・地球環境室に改組し、1課6室となる。
- 平成22年4月 食品衛生室を化学衛生室に、水環境室を水環境対策チームに、環境化学室をリサイクルチームに改組・改称し、1課4室2チームとなる。
- 平成30年4月 リサイクルチームを水環境対策チームに一元化、企画調整室と総務担当を統合し総務企画担当とし、3室1チーム1担当となる。

主な施設・機器など

高度実験室



WHOの基準などで定められたレベル3の感染症微生物を物理的に封じ込め、安全に実験を行うための施設です。

電子顕微鏡(走査型)



電子線で試料表面を走査し、アスベスト繊維などを観察するための機器です。

その他、蛍光X線分析装置、高周波誘導結合プラズマ質量分析装置、液体クロマトグラフ質量分析装置、ガスクロマトグラフ質量分析装置等の機器を使用して調査研究や検査を行っています。

組織と主な業務内容

総務企画担当

予算の経理や決算、物品購入に関すること、庁舎管理、調査研究の企画調整、産学官連携、環境教育・学習支援に関する業務の他、TEASの維持管理、試験検査の信頼性確保と精度の向上に努めています。



環境学習「水質調査」の様子

保健衛生室

細菌、ウイルス、リケッチア、原虫などによる感染症・食中毒の検査を行うとともに、その迅速化のための調査研究に取り組んでいます。また、県内医院から集めた検体の解析、感染症情報の提供、イワガキのノロウイルス検査、感染症の流行予測調査なども行っています。



PCR法による細菌・ウイルスの検査

化学衛生室

食品中の農薬や添加物、医薬品成分、危険ドラッグ成分、公共用水域や事業場排水等の水質、土壌や廃棄物中の有害物質等の化学物質に関する検査を行っています。また、化学物質による食中毒や水質汚染事故が発生した際、原因究明のための検査を行っています。これらの検査に当たり、検査結果の品質管理を実施しています。



野菜・果実中の残留農薬検査

水環境対策チーム

湖沼等の水質浄化や保全、自然再生とその水質浄化能の活用に資する研究の他、地下水・湧水の保全と賢明な利用に資する研究、廃棄物の適正処理やリサイクルに関する研究等を行っています。また、水質モニタリングの新技术開発や水環境に係るNPO・地域住民活動への支援等も行っています。



湖沼の水質モニタリング

大気・地球環境室

越境大気汚染に関する調査に取り組んでいるほか、大気汚染の常時監視、有害大気汚染物質や酸性雨の調査、航空機騒音の解析等を行っています。



有害大気汚染物質(VOC)の測定